

ID	
氏名	
生年月日	
年齢	性別
科名	病棟

mFOLFOX6+BV療法			
ポート			
2週毎			
疾患名	大腸癌		
T	N	M	Stage

主治医

指導医

(身長 cm・体重 kg) 体表面積 m²

スケジュール HBs抗原 (+ -) HBe抗体 (+ -) HCV抗体 (+ -)

《注射》		Day1	Day2	Day14
ベバシズマブ	5mg/kg	↓		
オキサリプラチン	85mg/m ²	↓		
レボホリナート	200mg/m ²	↓		
フルオロウラシル ワンショット	400mg/m ²	↓		
フルオロウラシル 持続	2400mg/m ² /46hr	↓	… →	

オキサリプラチン

- 末梢神経障害緩和のためホットパックを使用する。
- 治療期間中は冷感刺激を避ける。(金属類との接触、冷たい食事や飲み物、エアコンの風など)

ベバシズマブ

- 投与前に血圧を測定する。収縮期 ≥ 160 or 拡張期 ≥ 100 を超える場合は主治医に確認する。
- 出血傾向、血栓有無を確認する。

Day1

				投与ルート
①	アプレピタントカプセル125mg 1C	内服	オキサリプラチン投与 1時間前	
②	生食100ml	DIV	血管確保(20ml/h)	メイン
③	パロノセトロン0.75mg/50ml 1V デキサート1.65mg 4A	DIV	30分	側管
④	ベバシズマブ ()mg 生食100ml	DIV	初回90分 2回目60分 以後30分	側管
④	オキサリプラチン()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV	120分	側管
⑤	レボホリナート()mg 5%ブドウ糖液250ml	DIV		側管
⑥	フルオロウラシル()mg 生食50ml	DIV	15分	側管
⑦	フルオロウラシル()mg 生食(フルオロウラシルと合わせて全量100ml)	DIV	シュアーフェューザーポンプ 46時間	側管

Day2.3 ★処方確認 17時まで病棟に薬があがっているか確認 申し送りへ記載

①	アプレピタントカプセル80mg 1c 1×朝	内服	
②	デカドロン錠0.5mg 8T 2×朝・昼	内服	